

石山正三 いしやま せいぞう ロシア語學・文學者。大正二年二月二十三日東京生  
れ（一九〇一）。昭和十五年東京外國語學校露語部卒。東京外國語大學  
教授。

譯書の、スターリン著『辯證法的唯物論と史的唯物論』（昭和二十一  
年八月五日社會主義著作刊行會「社會主義著作集」）、オストロフス  
ー作『収入ある地位』（昭和二十二年十一月二十日日本評論社「世界  
古典文庫」）、チエルヌイシエーフスキー著『現實に對する藝術の美  
學的關係』（昭和二十二年五月二十日日本評論社「世界古典文庫」）、  
ドブロリエーボフ著『羅の王國』（昭和二十四年二月一日日本評論社  
「世界古典文庫」）等。著書『近代文學十講』（合著・岩上順一、  
昭和二十五年十月二十日ナウカ社）、『新ロシア語入門』（昭和二十  
二年七月十五日岩波書店）、『新ロシア語入門ソノシート』（昭和二十  
八年四月二十三日岩波書店）等。

